

百歳おめでとう

百歳を迎えた中村市郎さん（石上）への賀寿贈呈式は3月7日、自宅で開かれ、市郎さんに記念品などが手渡されました。

式では、新妻勝幸相双保健福祉事務所長から知事賀寿や記念品の木杯が贈られた後、横山哲也健康福祉課長から記念品などが手渡されました。

市郎さんの長寿の秘訣は自転車をよく出かけていたことや晩酌をたしなみながら楽しく生活することです。

中村市郎さん



百歳おめでとう

百歳を迎えた鈴木タカノさん（新沼）への賀寿贈呈式は3月14日、相馬ホームで開かれ、タカノさんに記念品などが手渡されました。

式では、新妻勝幸相双保健福祉事務所長から知事賀寿や記念品の木杯が贈られた後、佐藤憲男副市長から記念品などが手渡されました。

タカノさんの長寿の秘訣は好き嫌いせず食べることや、よくお話をすることです。

鈴木タカノさん



世界の文化を五感で感じる わくわくワールドフェスタ

「わくわくワールドフェスタ」は2月17日、総合福祉センター（はまなす館）で開かれ、多くの市民と外国人などが交流し各国の文化に触れました。

NPO法人相馬国際交流の会、わくわくワールドフェスタ実行委員会が主催、市教育委員会の共催。

会場には、フィリピン、ドイツ、インドネシア、ペルー、中国、韓国など世界各国のブースが立ち並び、国を紹介

したパネル展示や各国の代表的な料理の販売などが行われたほか、外国の言語でネームカードの作成や、世界の国旗の缶バッジ作り体験がありました。

訪れた人は、各国の料理を味わいながら、ステージで行われたチアリーダーングやストリートダンスなどで大いに盛り上がっていました。

わくわくワールドフェスタの開催は、今年で15回目になります。

感謝祭でにぎわう
磯部水産加工施設

磯部水産加工施設の開設3周年感謝祭は2月16日、同施設で開催され、大勢の来場者が新鮮な魚介類を買求めました。

当日は開店時間から、直売場で目当ての魚介類を買おうと、来場者が長い列をつくりました。

店内に並んだのは、相馬沖で水揚げされたミズダコ、コウナゴ、シラス、カレイなど新鮮な多種の魚介類。

来場者は次から次へと店内に陳列される商品を見定めしながら、多くの商品をカゴに入れていました。

また、同施設内にある大型ハウスにおいて、先着順で200食のホッキ飯と400食の青ノリの味噌汁が無料で振る舞われ、来場者らは、笑顔でほお張っていました。

震災から8年 市東日本大震災追悼式

東日本大震災の発生から8年を迎えた3月11日、市民会館で犠牲者を悼む相馬市東日本大震災追悼式が開催されました。

市が主催し、遺族ら約400人が参列しました。
開式に先立ち相馬高等学校吹奏楽部が献奏。

政府主催の追悼式がスクリーンで中継されるなか、震災の犠牲者を悼み黙とうがささげられました。

式では、立谷市長が「震災の教訓や多くの命を守ってくれた英霊、いただいた多くの支援への感謝を忘れずに、後世に語り継いでいきます」と式辞を述べ、米山光喜市議会議長、荒秀一県議会議員が追悼の辞を述べました。



遺族を代表し、吉田政治さんが震災からの8年間の回想し「決して忘れることの出来ない過去ですが、亡くなった方の無念を思い、精進して行きたい」と犠牲になった御霊に語りかけました。



いざというときに備える 市役所消防訓練

市役所の消防訓練は2月15日、同庁舎および駐車場で相馬消防署の協力のもと実施され、職員ら約150人が参加しました。

当訓練は、日ごろから職員各自の任務を再確認し、被害を最小限に抑えられるよう消防関係機関と円滑な連携が取れるようにすることなどを目的に実施されました。

自衛消防隊の初期消火活動や、職員および市民の避難誘導など、職員は各自の役割を確認しながら迅速な対応と速やかな避難を実践しました。



スポーツ大会出場報告

空手道競技



スポーツ大会出場報告は2月19日、市役所で行われ、空手道競技において東日本大会に出場する選手らが堀川利夫教育長に報告しました。

訪れた選手は、第35回糸洲会東日本少年少女空手道錬成大会に出場する米澤奈那選手（中二小6年）、米澤舞選手（中二小4年）、米澤藍希選手（中二小1年）、佐藤風選手（中二小6年）の4人。

選手らは「優勝を目指して全力でがんばります」と、大会への意気込みを述べました。

インドアソフトテニス競技

スポーツ大会出場報告は2月19日、市役所で行われ、インドアソフトテニス競技において東北大会に出場する選手が堀川利夫教育長に報告しました。

訪れた選手は、県の代表として第18回東北六県対抗中学生インドアソフトテニス大会に出場する菅野暖空選手（中一中2年）。

堀川教育長は「県の代表という自覚をもってがんばってきてください。良い結果を待っています」と選手を激励し、奨励金を手渡しました。



新たな世界への旅立ち 市内の中学校で卒業式



3月13日、市内の中学校4校で一斉に卒業式が行われ、332人が卒業証書を手に学び舎を巣立ちました。
磯部中学校では9人が卒業。

本間義和磯部中学校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡し「今渡した卒業証書は、皆さんが3年間がんばった証しです。」

皆さんのこれからの人生が健康で幸せであることを祈っています」と卒業生に向けてはなむけの言葉を伝えました。

卒業生を代表し、坂田紀乃さんが「卒業は別れでありスタートです。自分たちの力で少しずつ前に進んでいき、見守ってくれた先生方や保護者、友達へ恩返ししていきます」

と仲間と共に過ごした3年間の学校生活を振り返り、新たな旅立ちへの抱負を述べました。



磯の香りが広がる 乾燥ノリ出荷



2月19日、相馬双葉漁業協同組合松川浦支所で青ノリ（乾燥ノリ）の出荷作業が行われました。

出荷に向け摘み取られていた青ノリ（生ノリ）は漁業者の手により乾燥され、箱に梱包された形で搬入。

その後、漁協関係者により計量と検品が行われ、乾燥ノリの出来具合によって箱が振り分けられました。

松川浦と太陽の恵みを得てほのかな磯の香りが広がる乾燥ノリは市内で流通されており、今シーズンは5月の初旬まで出荷される予定です。

協力することの大切さ スポーツ笑顔の教室

スポーツ笑顔の教室は2月19日、飯豊小学校の5年生27人を対象に開催されました。訪れた夢先生は、Jリーグで活躍した元サッカー選手の平間智和先生。

参加した児童らは、「ゲームの時間」でチームとして成功させるにはどうしたらいいかなどを相談し合い協力しながら、少し変わったおにごっこやだるまさんがころんだで体を動かしました。

「夢トークの時間」では、どんな場面においても自己中心的な考えを持たず、周りのみんなと協力しながら物事に全力で取り組むことの大切さを児童に伝えていました。



地域防災力強化の一助に 認定証交付式



市消防団協力事業所認定証交付式は2月18日、市役所で行われ、認定を受ける旭電設工業株式会社の八巻正隆代表取締役が訪れました。

同制度は、市消防団活動に積極的に協力している事業所などを認定するもので、地域防災力強化などを目的としています。

有効期限は2年間で、同社の認定期間は2021年2月17日まで。

式では、立谷市長から八巻代表取締役へ認定証が手渡され、立谷市長が「今後も人助けのために協力をお願いしたい」と述べました。

エル・システム事業を支援 オリエンタルモーター

オリエンタルモーター株式会社の倉持一久取締役常務執行役員ら3人は3月5日、市役所を訪れ、佐藤憲男副市長と菊川穰エル・システムジャパン代表理事に寄付金を手渡しました。

この寄付金は、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）として、市子育て・教育環境充実プロジェクトに賛同をいただき寄付を得たものです。

佐藤副市長と菊川代表理事

は、いただいた寄付への感謝の気持ちを述べました。



成長して戻ること期待 サケ稚魚放流



宇多川鮭増殖組合は2月20日、岩子地内の宇多川下流で、サケの稚魚約60万匹を放流しました。

サケの稚魚は、同組合によって養殖場で約5センチメートルまで育てられたもの。稚魚はこれから厳しい環境を乗り越え、およそ4年後に成長したサケが宇多川に戻ってくる予定で、戻ってくるのは、放流された稚魚の1パーセントほどの数です。

立谷寛治同組合長や佐藤憲男副市長らは、バケツに入った稚魚が大きく育って戻ってくることを願い、静かに川へ放流しました。

親子で楽しい時間 LVMH 子どもアート・メゾン



親子で楽しむイベント「アートであそぼう」は2月24日、LVMH 子どもアート・メゾンで開催され、多くの親子が参加しました。

MHD モエヘネシーディアジオが主催し、NPO 法人あおぞらん、おがわ教育研究所、NPO 法人エイブル・アート・ジャパンの協力により開催。

子どもたちは、相馬産のイチゴを使ったシュークリームを作り、講師特製の相馬牛ハンバーグなどを親子で味わいました。

午後の時間は、絵本の読み聞かせや動く彫刻「モビール」作りを体験するなど、一日を通して楽しい時間を過ごしました。

寒さに負けず全力で投球 小学生ドッジボール大会



第21回小学生さわやかドッジボール大会は2月17日、スポーツアリーナさうまで開か

れ、市内の小学生が熱戦を繰り広げました。

市教育委員会、市スポーツ推進委員会の主催。

17チーム175人のスポーツ少年団員らが参加しました。

大会は、桜丘ブラックタイガースの武山幸平さんが力強く選手宣誓をして開催され、男子・女子・混合の部に分かれて予選リーグと決勝トーナメントが行われました。

子どもたちは、目まぐるしく攻守が変わる中、チーム一丸となって最後まであきらめ

ずにボールを投げ合い、さわやかな汗を流していました。

